

本草圖譜

芳草部

六

灌園 岩崎常正著 芳草部

本草圖譜

本草圖譜卷之六目錄

芳草類 一

當歸

ひませう

一

一種

伊當歸

二

一種

草當歸

芎藭

とむろかつら

三

一種

大葉川芎

蛇牀子

たまゆんぎん

四

藁本

かきもち

一種

和産

六

徐黄録附

すづかせう

七

一種

伊吹せう

八

蜘蛛香

たけせう

九

白芷

よろいさ

十

芍藥しやくやく

あびすき

十一

一種

山芍藥さんしやくやく

十二

牡丹ぼたん

ふかきき

十三

木香もくかう

おんくま

十四

甘松かんしゅう

あびでかんしゅう甘松

十六

一種

葉甘松えかんしゅう

本草圖譜卷之六

東都

岩崎常正著

芳草類一

十八種

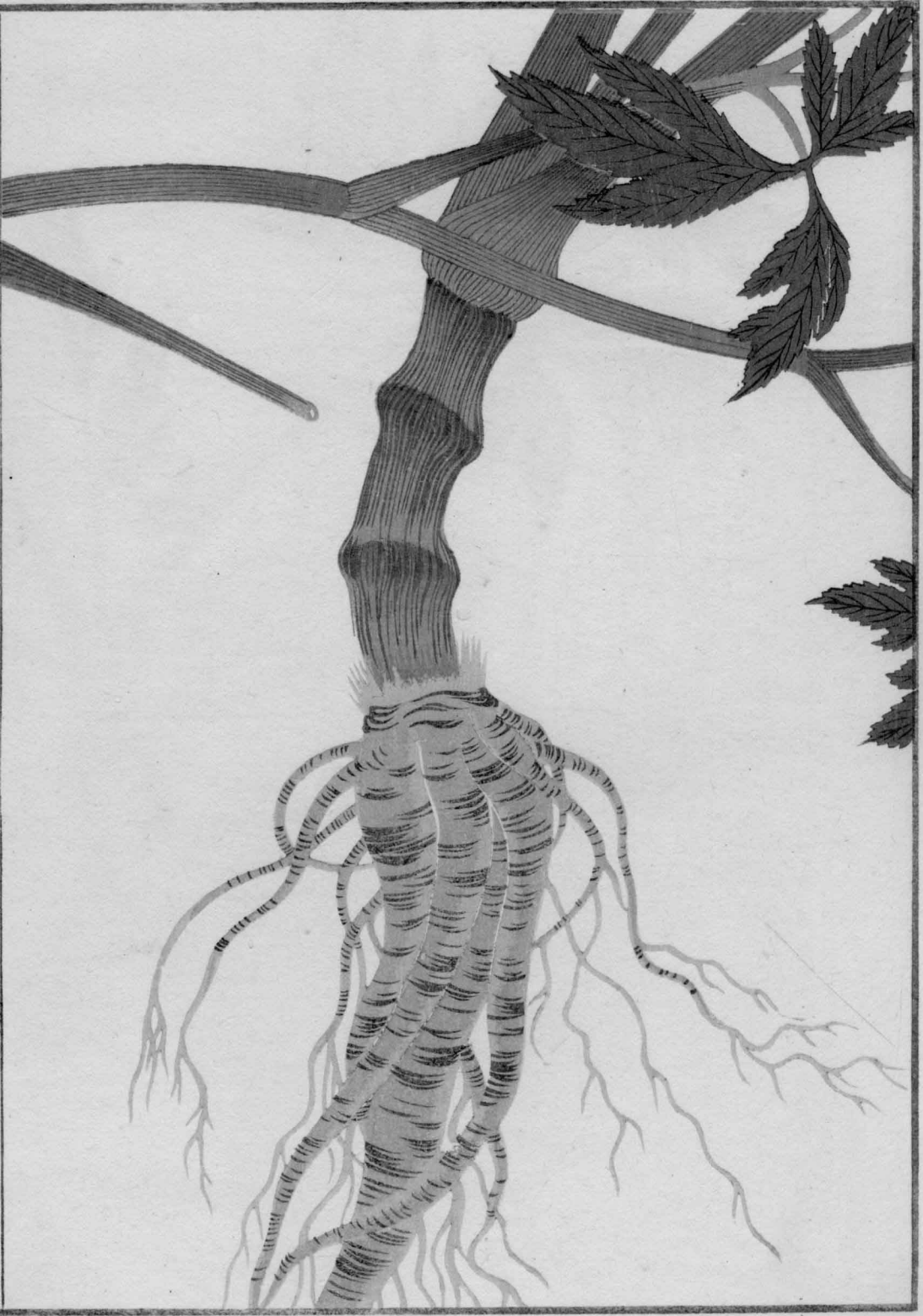
當歸^{たうき}

むらさう

本名草



漢種のもの江州及大和あて
作る葉は三枝九葉長むれば
九枝三十葉もある金糸あり
獨活に似て狭小光澤あり
莖紅色小白花傘状をるる
根は牛房ふ似て枝多く黄
紫色烈香あり味辛甘潤ひ
多く薬用に上品即馬尾^{べい}
當歸^{たうき}



一種

江州伊吹山に生ずるあり伊吹
當歸と稱す常州筑波山にも
自生あり花白色形状漢種に
似て瘠る根枝少く潤少
る時珍云饒頭當歸なり



一種

葉三枚九葉をとり羌活葉に似て
 小く根黄白色香味薄さのあり
 これ弘景の残さるの草當歸なり



芳藟きう たい

とむるから

本草
和名

諸國を栽う大和豊後産を上品と
葉ハ水青より似て大は莖綠色高サ三四
尺小白花傘状をる根小節多一肥
地を栽るものハ節間は塊と皮黒
褐色肉淡黄色烈ハ香あり薬用なり

芳藟
和名



一種

大葉川芎と呼ぶ葉ハ白芷に似て
狭尖枝曲る莖ヤ二三尺ハ白芍花
傘形狀を有根ハ芋の如くわて圓く
扁一味辛く少苦先輩弘景の説の馬銜



蛇牀子

七葉のあんどん

武州洲崎下総行徳
及諸國の海濱に生ず
形珊瑚菜ハマハレ葉に
似て少く光澤あり苗葉
地は扇す莖長さ一尺餘
小白花傘形狀を有て
芥花に似たり實米粒の
如くありて條理あり

キウク
芎藭は充れども川芎
との氣味形狀異なり

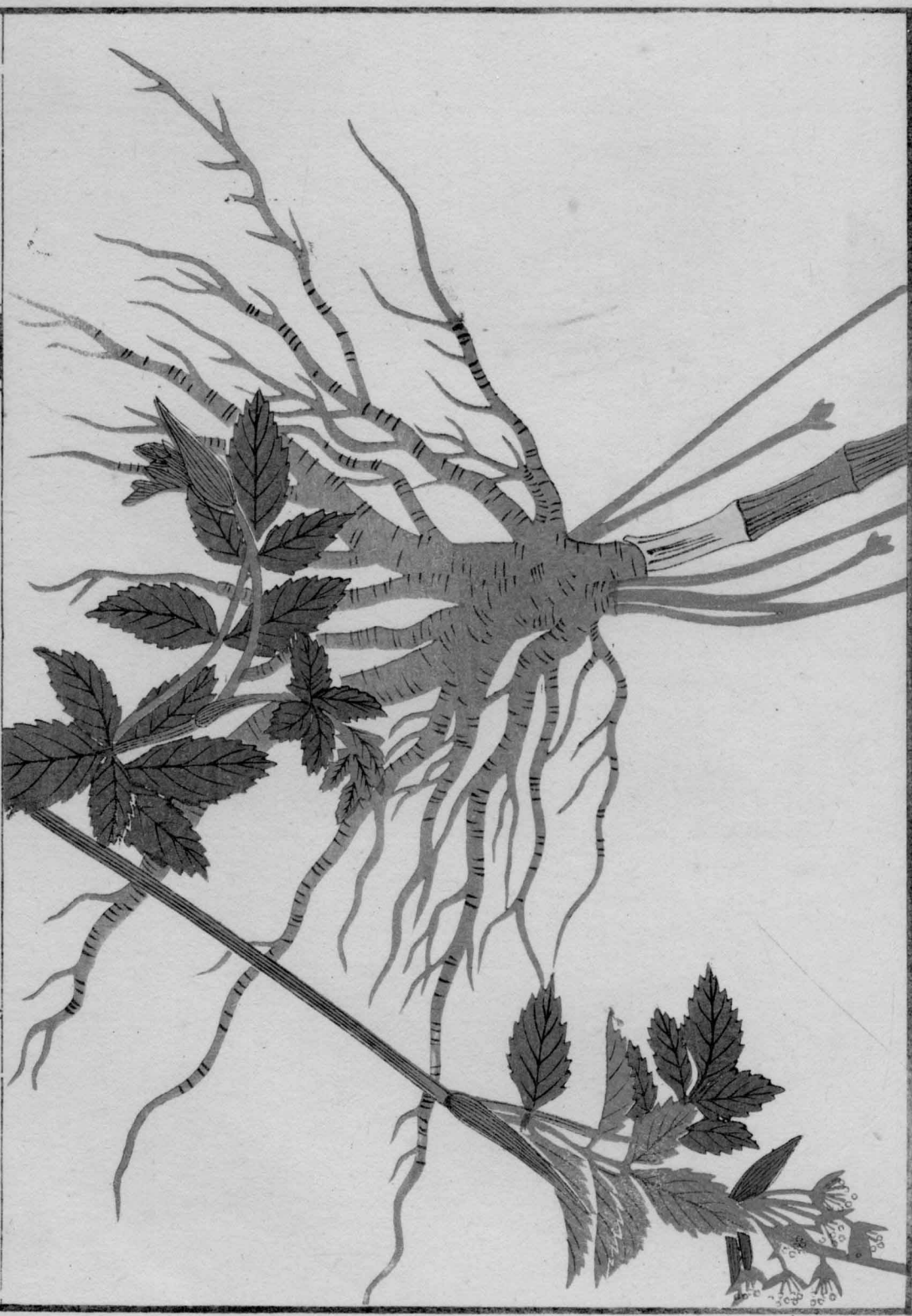


藁本^{かうへん}

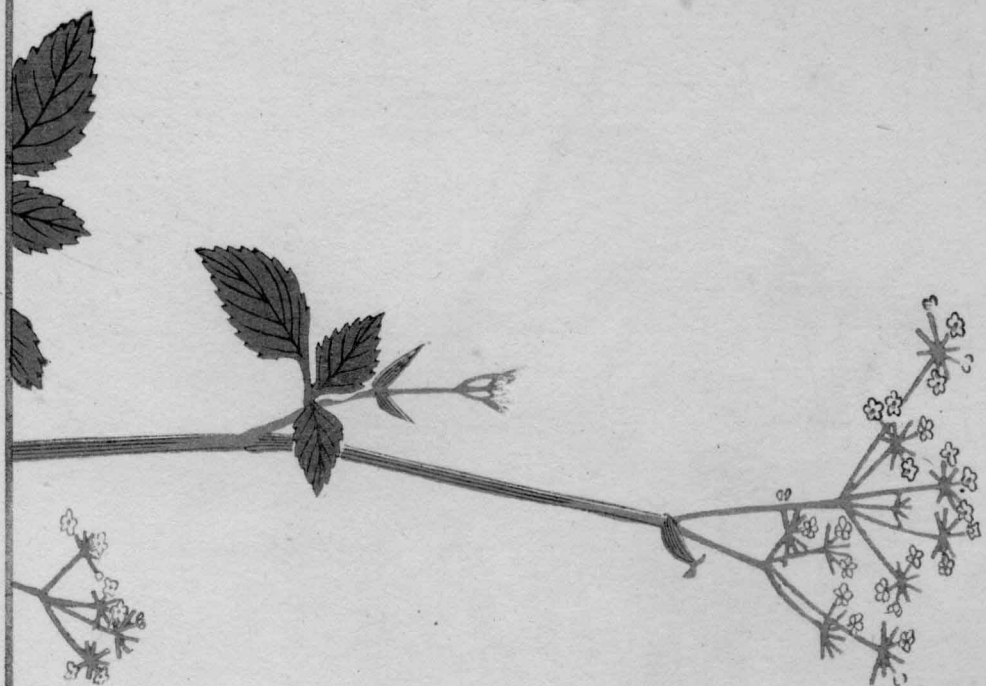
かさもち
本草
和名

漢種のめ處あり
葉の形川芎に似て尖り
多く圓くありて莖此糸
色微毛茸あり莖高さ
三四尺梢は小白花傘
形状となり實圓にて
胡荽^{ダイシ}子に似たり根數
條あり香氣あり





一種



和産ハ武州多摩郡山野稀ニ
あり莖高三三尺淡紫色の縦
筋あり葉粗く漢種より大なり
根白色より細し香氣薄し

